

TOTO

幼児用便器

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「禁止」を示します。		は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
--	--------------------------------------	--	---

注意

	便器に強い力や衝撃を与えない 便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 正常な取り付けができなくなる可能性があります。
	設置工事は、この説明書に従って確実に進行 故障や水漏れの原因になります。

同梱部品

※部品があるか、下表を参照して確認してください。

便器本体	排水ソケット (ゴムジョイント付き)	その他
(1個)	(1個) ※ゴムジョイント付き・VP/VU75・100兼用	本紙
固定金具類		
木ねじ (排水ソケット用) (φ6×40 : 3本)	便器取付木ねじ (φ6.2×63 : 2本)	ワッシャー (2個)
		化粧キャップ (2個)

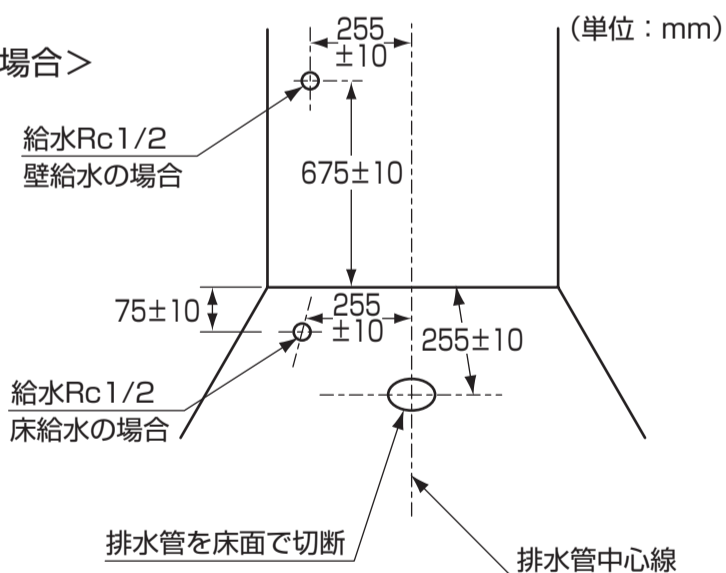
〈別途発注いただくもの〉

名称	品番	備考
排水ソケット (鉛管用)	T90SW75	75mm鉛管の場合
	T90SW100	100mm鉛管の場合
樹脂プラグ	HH04060	床材がコンクリート・モルタルの場合 φ8 (10個/1組)

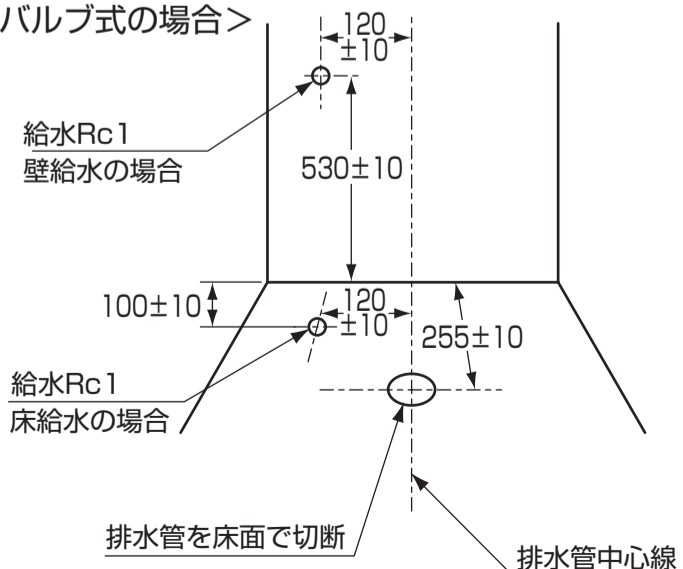
取り付け前の注意

■施工前に、給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置にあることを確認する。

〈タンク式の場合〉



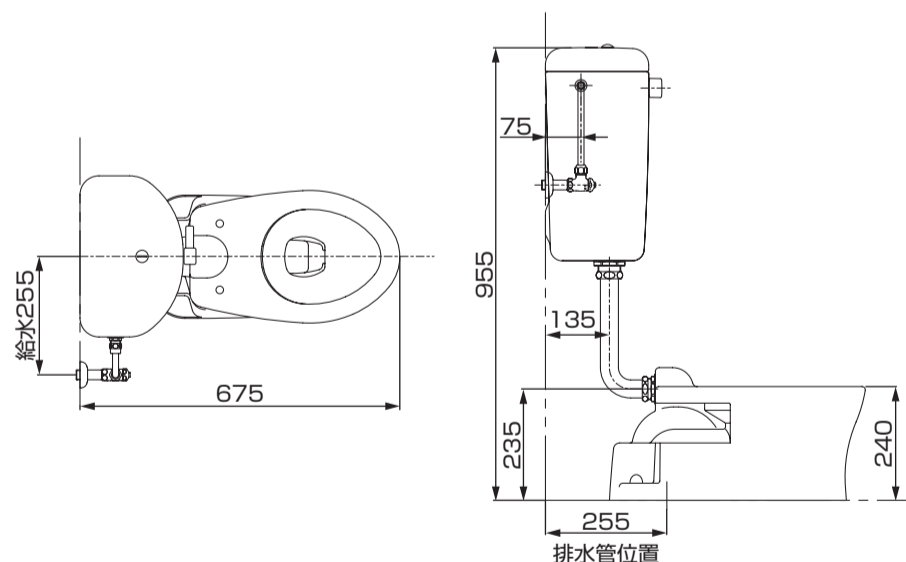
〈フラッシュバルブ式の場合〉



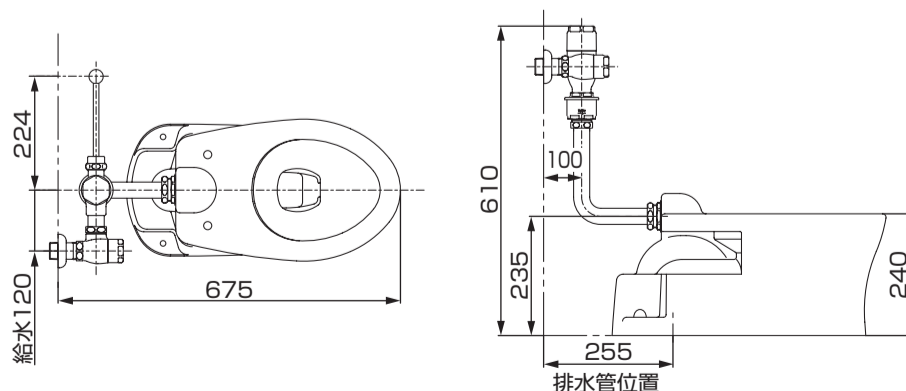
商品セット図

(単位 : mm)

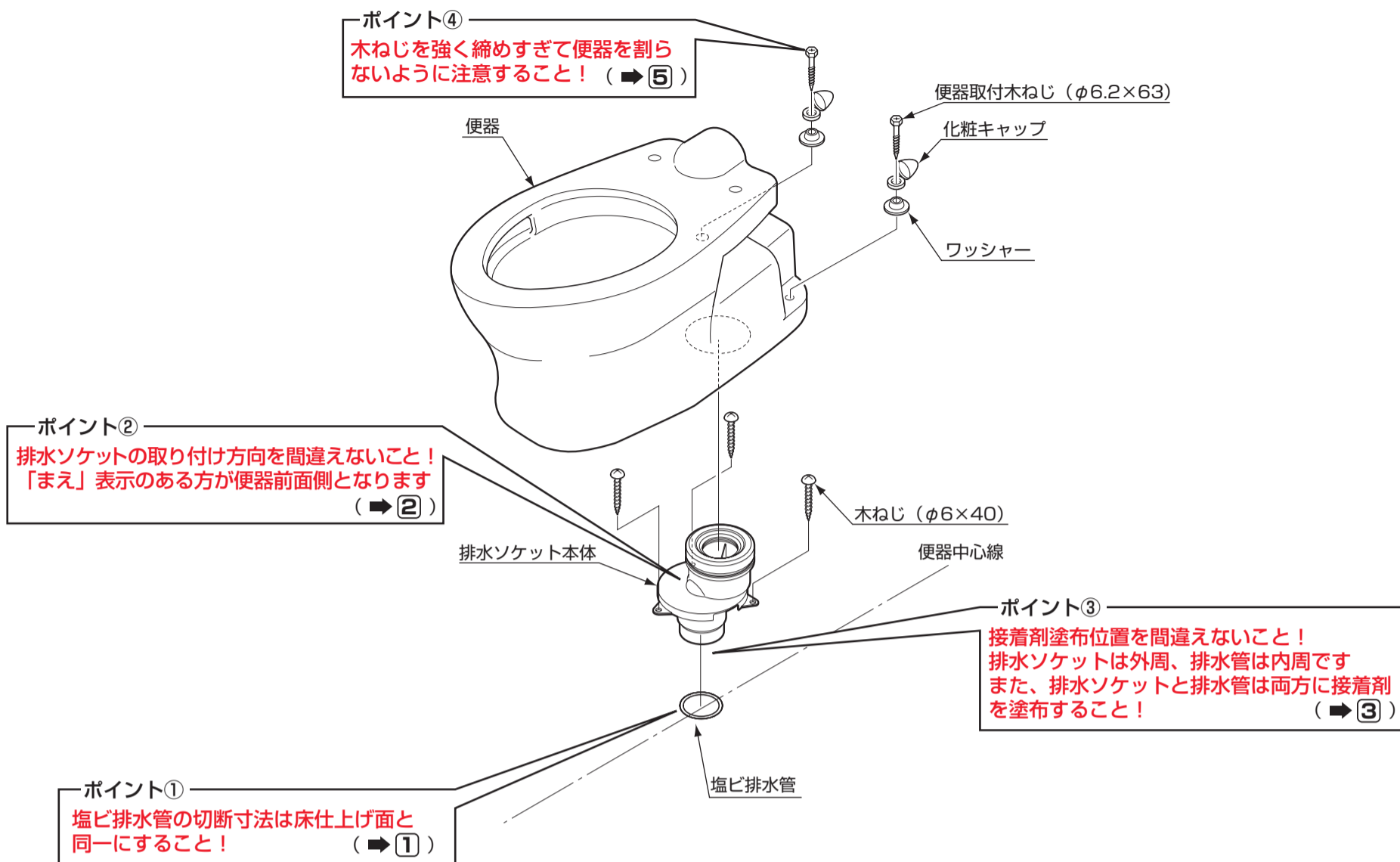
施工完了図 (タンク式 壁給水タイプの場合)



施工完了図 (フラッシュバルブ式 壁給水タイプの場合)



各部のなまえと施工のポイント



取付方法

1 給・排水管の取り出し

⚠注意

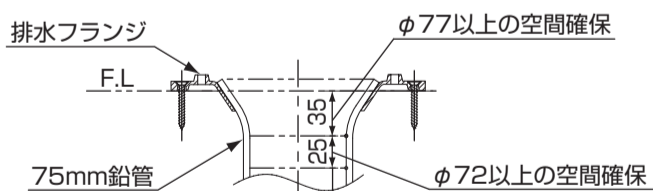
排水管の床仕上げ面からの飛び出しは5mm以下にする
排水管の床仕上げ面からの飛び出しが5mmを超えると、ソケットが突き上げられ固定が不十分になり、水漏れのおそれがあります。

排水管が鉛管の場合は、補修用排水ソケットT90SW100 (※T90SW75)を使用する

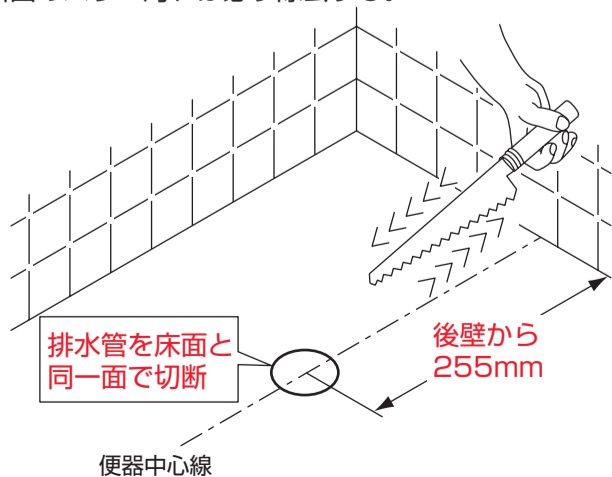
ただし、T90SW75/100に同梱されている塩ビの部品は使用しません。
※75mm鉛管を使用する場合は、つば広げ状態や鉛管の変形により施工できないことがあるため、床埋め戻し前(モルタル、コンクリートなど)に下図の空間を確保する必要があります。



必ず実行



- 給・排水管を所定の位置に取り出す。
- 塩ビ排水管 (VP・VU75、またはVP・VU100)を床面と同一面で切断する。
- 排水管のセンターを出して、床面に便器中心線をけがく。
- 排水管切断面のバリ・汚れは必ず除去する。



2 排水ソケットの位置決め

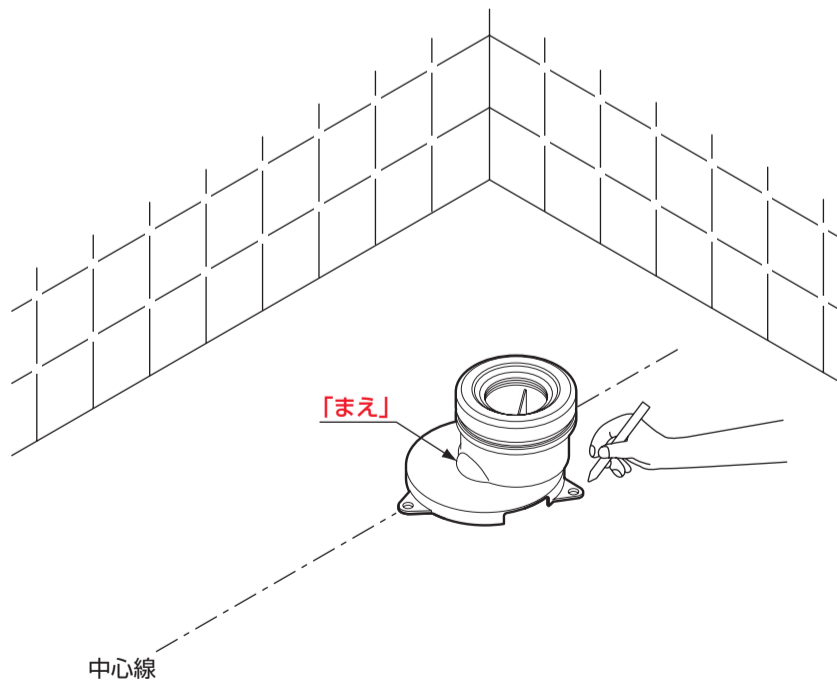
⚠注意



必ず実行

排水ソケットは図の方向(「まえ」と表示された面を前)に取り付ける
間違った方向に取り付けると便器の施工ができなくなります。

排水ソケットの前後を確認し、排水ソケットの中心と便器中心線にあわせて、仮位置決めをする。

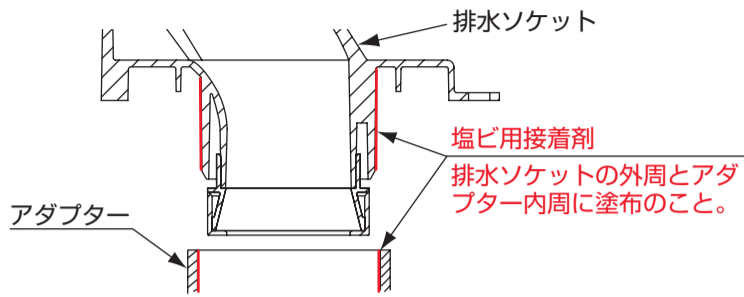


※床に木ねじをねじ込む前にφ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。

3 排水ソケットの接着

⚠注意

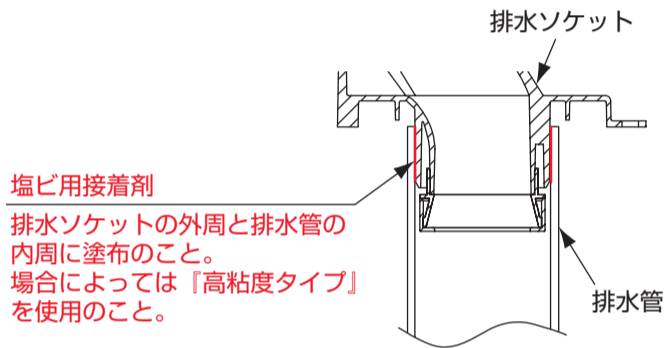
- ・排水ソケットとアダプターは塩ビ用接着剤で接着のこと
- ・接着剤の塗布面は汚れを取り除き、排水ソケットとアダプターの両方に接着剤を塗布すること
接着が不十分だと臭気・水漏れのおそれがあります。



- ・排水管の切断面のバリ、汚れは必ず除去すること
- ・接着剤は、排水ソケットと排水管の両方に塗布すること
接着剤の塗布位置を間違えたり、片側のみ塗布したりすると臭気・水漏れのおそれがあります。
- ・仮挿入時に排水ソケットと排水管のはめあいがゆるく、ガタがある場合は、必ず『高粘度タイプの接着剤』(HH05062)を使用すること
一般タイプの接着剤では臭気・水漏れのおそれがあります。
- ・一度接着すると、手直しができないので注意すること

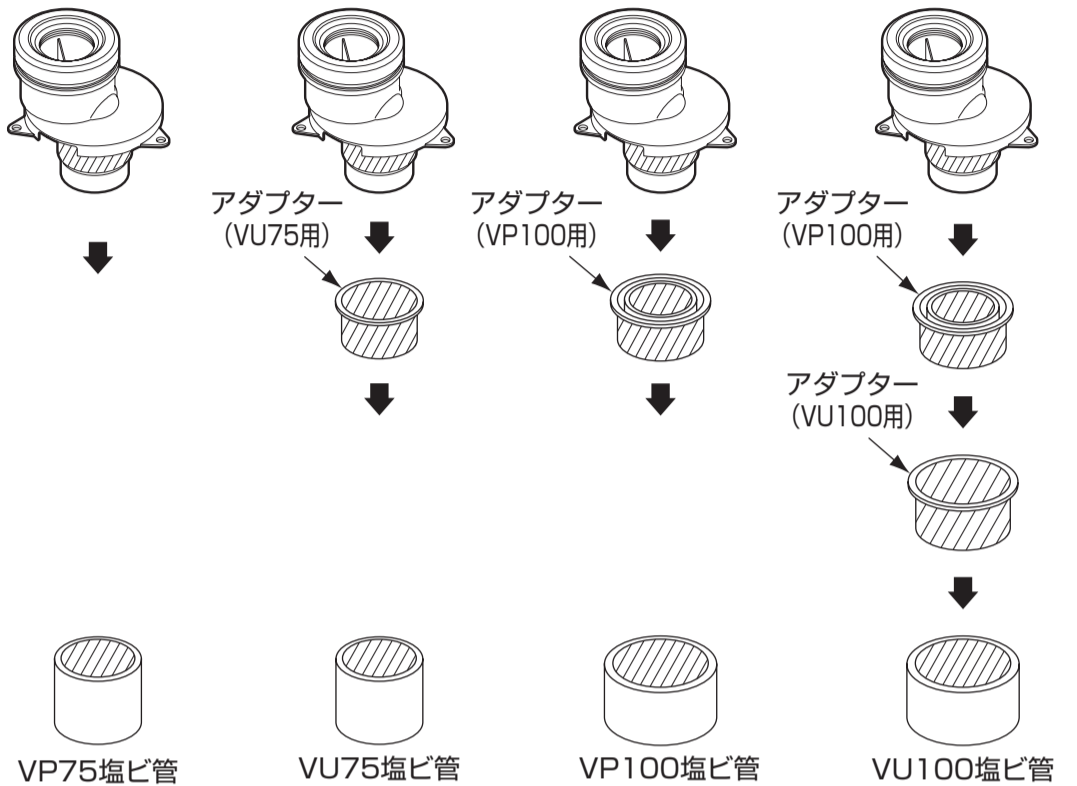


必ず実行



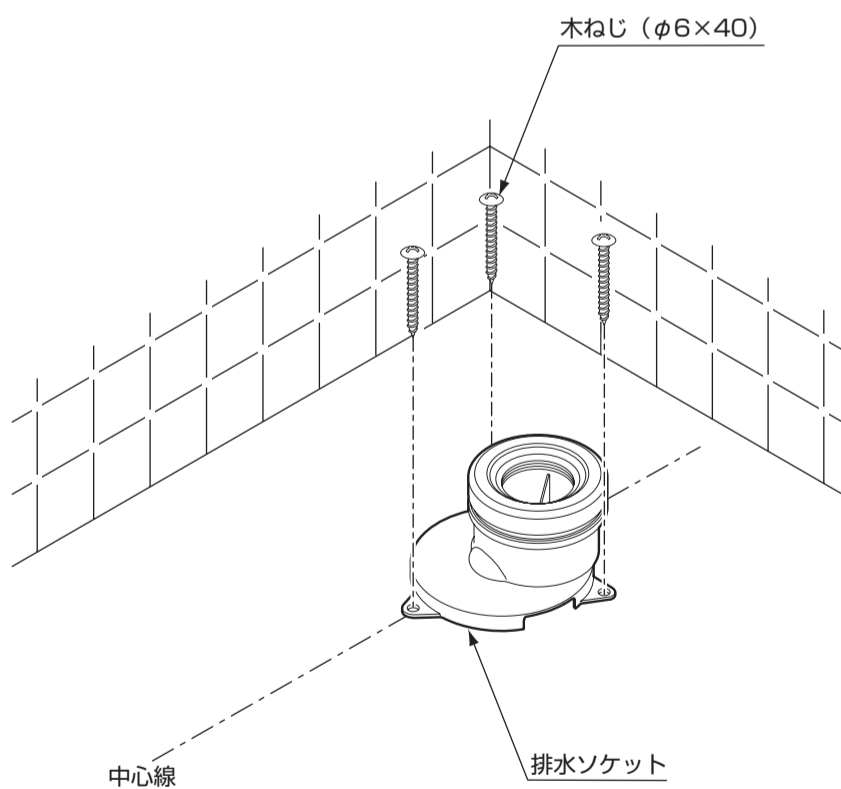
- ①排水管がVP75以外の場合は、アダプターを塩ビ用接着剤で排水ソケットの接続部に接着する。
- ②排水ソケット本体を排水管に仮挿入して、ガタの有無を確認する。
※ガタがある場合は、左記注意を参照ください。
- ③排水ソケットと排水管の接続部に塩ビ用接着剤を塗り、排水管に押し込む。

排水ソケットと排水管の組み合わせと接着剤塗布位置（斜線部）



4 排水ソケットの取り付け

排水ソケットの取付穴に木ねじを入れ、3カ所を確実に締める。

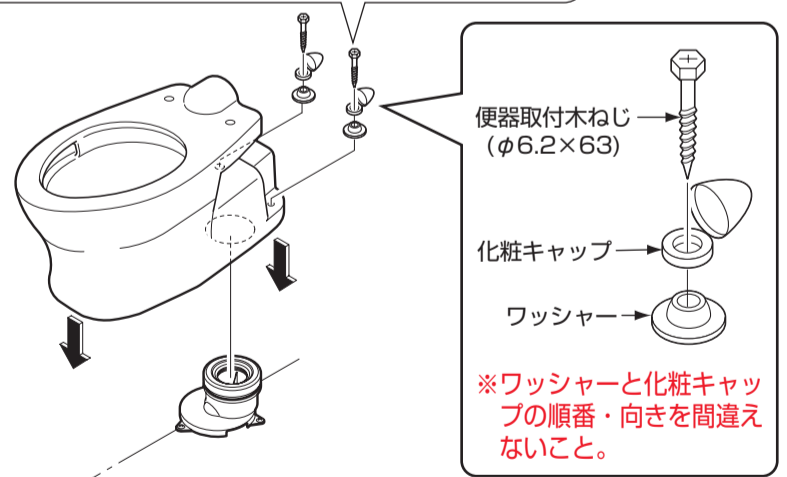


※床に木ねじをねじ込む前に、φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。

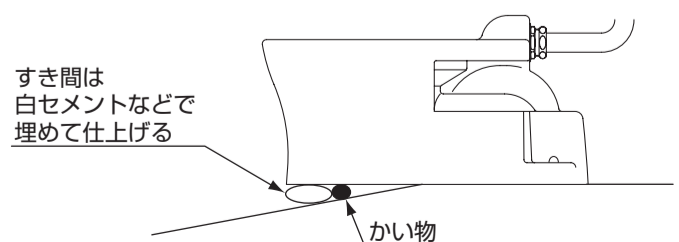
5 便器の取り付け

- ①便器排水口周辺のごみや汚れを取り除き、便器排水口を排水ソケットに差し込む。
- ②便器の左右位置調整を行う。
- ③便器の後ろ側の取付穴（2カ所）を便器取付木ねじで締め付けて床に固定する。

便器取付木ねじを締め過ぎて便器を割らないように注意してください。



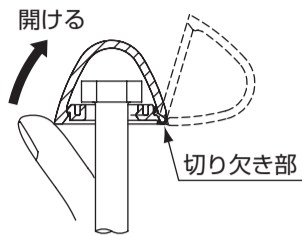
床面に不陸がある場合、大便器下面にかい物をして大便器を固定したあと、すき間を白セメントなどで埋めて仕上げてください。



6 化粧キャップ付きねじの構造

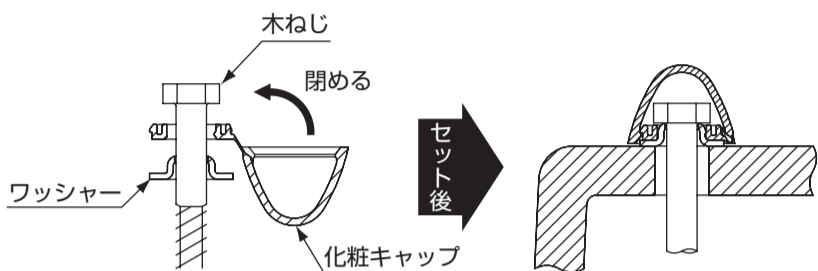
6-1 取り付け

- ①最初に化粧キャップを開ける。
開け方は、ねじを手で持ち切り欠き部をよけて化粧キャップの下部を矢印の方向に指で押し上げる。



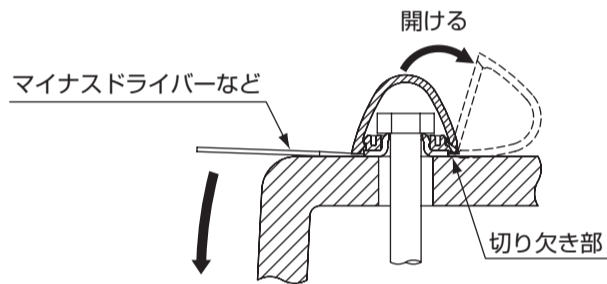
- ②ねじを取り付ける前に、化粧キャップとワッシャーの順番、向きを確認し、間違えないよう取り付ける。

- ③ねじを取り付けたあとは、化粧キャップを矢印の方向に閉めて、「パチッ」と音がするまで押し込む。



6-2 取り外し

- 施工後にねじを外すときは、マイナスドライバーなどを使用し、化粧キャップの切り欠き部をよけて下部に差し込み、矢印の方向に押さえて開ける。



7 タンクおよびフラッシュバルブの取り付け

注意



施工後に便器洗浄を行い、給水接続部より水漏れがないことを確認する

必ず実行 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

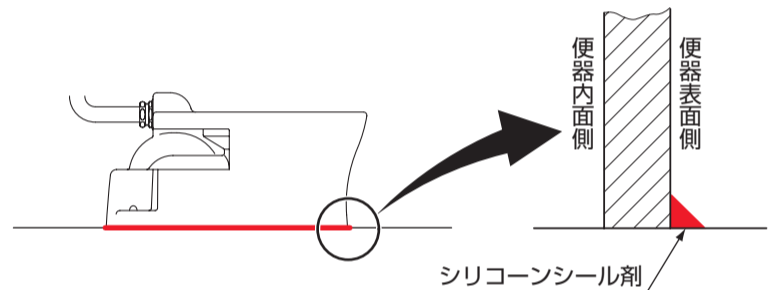
- ・タンクの取り付けに当たっては、タンクに付属の施工説明書に従ってください。
- ・フラッシュバルブの取り付けに当たっては、フラッシュバルブ付属の施工説明書に従ってください。

取り付け後の確認

- ・試運転（洗浄）後、便器ボウル内に配管の切粉など異物がないことを確認してください。もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。
- ・陶器表面に傷などがないことを確認してください。陶器表面に金属類（時計のバンド、ベルトのバックルなど）が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。スジ状の跡が付いた場合は、研磨剤入りの洗剤などで軽くこすって除去してください。
- ・施工したあとは、便器ボウル内に油などの見えない汚れ（コーキング剤、配管用接着剤など）の付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤（研磨剤なし）を使って、必ず汚れをふき取ってください。便器ボウル面の洗い残りの原因となります。

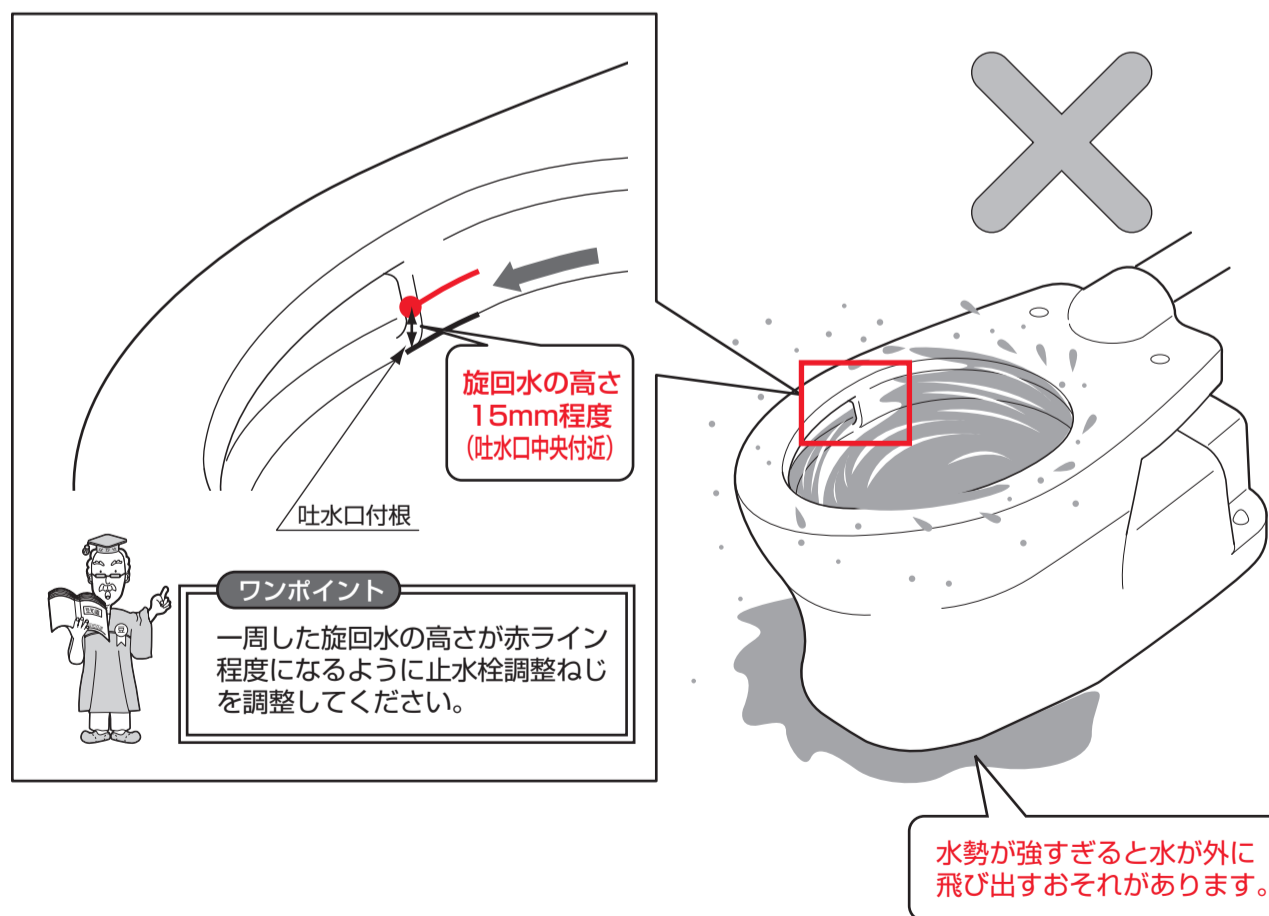
お客様に快適に使っていただくためのポイント

便器袴下部と床のすき間に掃除の際の水や小水が入り込みますと、床シミの原因となりますので、便器袴下部周囲に防カビ性の透明シリコンシーラント剤を塗布し水や小水の浸入を防止することをおすすめいたします。



洗浄流量の調整

フラッシュバルブセットの場合、下図を参考に、止水栓部の流量調整ねじを調整してください。

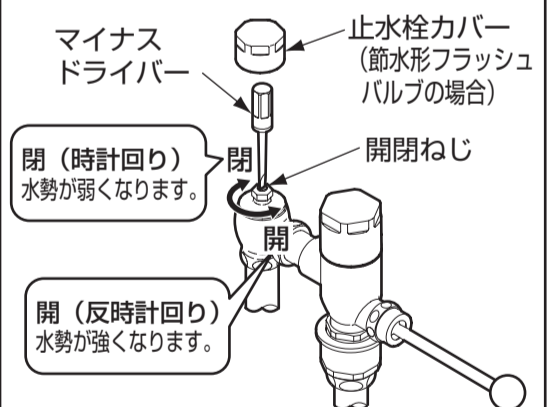


旋回水の高さ
15mm程度
(吐水口中央付近)

ワンポイント

一周した旋回水の高さが赤ライン程度になるように止水栓調整ねじを調整してください。

TV760系



TEF70・71系

